

<令和3年度における関係者評価>

※ 保護者及び職員へのアンケート調査の項目を下記のように観点別に分類、整理しましたので、この12項目についての評価をA,B,C,Dをお願いします。(評価員4人の評価)

1	教職員の対応	① 笑顔で明るく園児や保護者に気持ちのよい対応をしている	A	A	A	A
		⑫ バスの送迎時に、保護者への挨拶、園児との挨拶、「お預かりします」「行ってきます」などの言葉かけをきちんとしている				
		⑯ 職務にふさわしい服装、節度ある行動・態度がとれている				
2	教職員の規律性、信頼性	② 園児に温かい態度で接し信頼関係を築いている	A	A	A	A
		⑰ 園児に関するプライバシーを守っている				
		⑳ 保育料・諸経費等の集金や支払いなどをきちんと処理している				
3	保育の内容	③ 園児が伸び伸びと自分らしさを発揮して過ごせるよう支援している	B	A	A	A
		⑤ 遊びこむ時間を大切にして、主体性や創造性・社会性を育み、意欲や人と関わる力を養う保育に努めている				
		⑧ 園外に出かけての活動は、園児の生活経験を広げ、豊かな情操を育むことに役立っている				
		⑪ 園児は、毎日園に来るのを楽しみにしている				
4	園生活での指導	④ 食事前の手洗い・食事マナー・食後の歯磨き等の基本的な生活習慣をきちんと指導している	A	B	A	A
		⑨ 日常の園生活の中で、園児の返事・挨拶などの習慣化に努力している				
		⑭ 交通教室や「避難訓練」(火災・地震・水害・不審者侵入対応)の実施など、園児の身を守るための安全対策指導を計画的に行っている				
5	体力の向上	⑥ 水あそびやなわとび・鬼ごっこ・自由あそび(運動あそび)などの外あそびに取り組みせ、園児の健康で丈夫な体づくりに努めている	A	B	A	A
6	食育の推進	⑦ 園や学年で年齢にあった活動(食事の話、栽培活動、かむことや箸の持ち方の実技など)をして食育に取り組んでいる	B	A	B	A
7	情報の伝達・公開	⑩ クラスだよりでは、園児の活動の様子がよくわかるように紙面づくりをしている	B	A	A	A
		⑲ 日頃の保育の様子を来園者にわかりやすいようホワイトボードやドキュメンテーションなどを利用し、可視化に努めている。				
8	保護者との連絡・連携	⑱ 保護者との書連絡(おたより帳)や電話その他の方法でよくとれている	A	A	A	A
9	環境整備	⑳ 環境整備や清掃を行い、園児が生活しやすい環境づくりに心がけている	A	A	A	A

10	職員の研修	⑮ 保育について研究・研修をし、それを日常の保育指導に生かしている	A	A	A	A
11	園のサービス	⑲ 通園バスの位置情報サービスは保護者にとって役立っている	A	A	B	A
		22 「ここのサロン」を通して、未就園児の交流の場を設け、子育て相談を実施するなど、子育て支援ができている				
		㉓ 希望すると預かり保育を受けつけ、保護者が安心して子どもを預けることができるようにしている				
12	幼、小連携	24 就学前教育の大切さを理解し、幼、小連携の取り組みをきちんと行っている	A	A	A	A

<園の自己評価に対する関係者評価委員の意見>

- 子どもたちが元気いっぱい伸び伸びと遊び、活発である。
- 一人ぼっちで孤立している子がなくて、伸び伸びさが伝わってきた。
- 部外者だったのに、子どもが近づき寄り添って話しかけてくれて嬉しかった。
- 評価が低い項目に関しては、理由を分析し、次への改善を望む。
- 職員は、各項目を「人間性・専門性」の質向上のためのねらいとしてもって保育に取り組むことが大切。
- 職員の研修が保育につながるような工夫が子どもの様子やアンケートから見て取れる。
- 食育の部分が少し改善と研修が必要に思われる。
- 伸び伸びと遊び、学ぶ姿が小学校に必ずつながるものと思われる。

【 関係者評価員会を踏まえた総合評価 】

- ・昨年度の関係者評価と比較すると、評価員全員からA評価をいただいた項目が2項目増えている。
- 12項目中、4分の3人以上のA評価が12項目中11項目（92%）だった。
- このことから、関係者評価が昨年度より向上しているが、4分の2人がB評価だった「食育」については、昨年度と同様の評価であるため、今後はこの点について、現状の取り組みを反省し新たな取り組みを創出して実施するよう努めなければならない。他園の取り組みなども参考にしたり、行政との連携を今まで以上に図ったり、保護者にも働きかけて食育の取り組みを理解してもらえよう努力すべきだと考える。
- ・評価者4人ともにA評価をいただいた項目については、今後もその取り組みを継続して、充実できるよう努めていきたい。